

されば、われは文政黨をしてある。併し、つてわれは文政黨をしてある。併し、つても産業報國の精神をばしつかりと共に基礎に置くものであれば、夫れでも空美<sup>くま</sup>べなく、又名は産業報國會と謂ふも、實業熱誠の機能を持つことを更に避けるが如きも御用に開闢する筋が或り眞の意味の實質一般實質を擧ぐるものとばかりないであらう。

適當なる方法を以て産業報國の精神を發揮せんとするが、これが實現する爲めには、社會問題の調査研究、國家的運動員の發動による國民大衆的意識、軍需品充足、技能者養成等の諸問題に對し豫めの正しさの認識を深めて當處する時刻に實際の要務でなければならぬ。

## 社會政策學院の使命

協調會は大正八年未創  
月第九回講習と

A black and white portrait of a man with dark hair, wearing a dark suit jacket, a white shirt, and a patterned tie. He is looking slightly to his left with a neutral expression.

學院長 請調理事會  
法學博士 盡澤昌貞

立後 同會の主要なる事業の一として教育的に社會政策を一般に表せ一言る爲、昭九平三月本擧

る者の便宜を考慮し夜間講習と爲したるが、豫期以上の好績を收めこれにせり、爾來既々夜間講習上

に於てもその便益至大なるを慮り、本學院の重要な事業の一と

皆様が専任を仰ぐ、殆どもあらゆる方面の事業に於て中堅人士として現に活躍しつゝある二千八百を超ゆる同志が相互に連絡協力を圖るときは、夫々の専門的な職途行の上に於ても亦社会問題研究の上

密接な關係を保ち、殆んどあらゆる方面的事業に於て中堅人士として現に活躍しつゝある二千八百を

(可觀物便郵種三第) 號五十一 第調

やうな複雑にして深刻を極むるものばかりである。

敵方將軍は義理並に軍需工業の擴充に伴ふ労働力の大不足の不足と之が禦用兵糧、傷痍軍人及統後の社會施設、被服給與及軍人との激增に伴う薪炭糞料の貢發とその供給策、物資輸送、產業政策と之より生ずる離職、業界問題、物價騰貴、通済費競争、之に關する國家總貿易問題、被服問題の調査、勞働問題、軍需工業の發展による國民經濟、軍需工場充實、技能者養成等があげ来れは無疑である。

更に吾人最も感心すべきは戰時及戰後における思想問題、それらの諸問題に對して豫て正確正しさ意識を深めて考慮するは終に喫緊の要務でなければならない。

斯界の權威者はかつてその解決策に資したこととした。尤も、つれの場合に於ても我が學院の傳統的精神なる中正公平なる問題の把握に遺憾なからしめんがため、社會政治經濟の動向とその因つて来るところを明にし、以つて非常に際に勤むれば繕り易き一方的考へ方に偏せざる様につとめた。關係各方面の方々の奮つて來講せられることを切望してやまない。

了生は全國各地の官公署、會社工場、鐵道、各種公益團體等に在て何れも社會政策の本業實現の爲め活躍してゐる。本學院に於ける講習は、豫め或る主義や思想に偏縁することを避け、現下社會の複雜なる事象、理論に關し、正確なる知識理解を得ることを目的として、以て健全なる行動力と涵養を期すものである。一方の方針上に偏りつゝあることは創立以來變遷する處である。併し創立以来間もなく學界並に實際界に於ける各方面で、教育問題が社會問題の一つとして確立されてゐる。別記の如きが體系的科目的教養を充實し得られる。斯くてよく社會問題が各その實生活に則して勉學し得る構成ある教育機關は他に比類が無い。

秋次大蔵、新規は開拓する外年四期に令報「主税」を刊行す。  
社会政策懇談會 在京同窓有志を  
以て組織し、社会政策に關する目的  
諸問題の研究、實業知識を擴充し、  
毎月一回以上研究會を開催し、  
研究報告の發表、質地見學等專  
門研究家の講演、出版、研究討論  
等の方法に依て單に講習期間中  
のみならず、修了後も社會問題の研  
究院を中心として研究会を開催し、  
遂ぐる一の会合として昭和十二  
年一月設立、會員二百餘名。  
（受講者に就する注意）  
1. 受講者は原則として在職の國庫  
官吏、公務員、學問研究者、他の許  
可を受けるものとし、（編者註、國庫  
書用紙、證券類等は請求文第2項  
附す）  
2. 所定の講習料以外の費用は實地  
調査等の為、車旅費を要する。  
外勤など不要。  
3. 修了資格、講義總日数の三分之  
三以上出席者有資格者とす。



前會政局

財團法人協調會は大正八年末

月第九回講習よりは禁間職務にあ  
る者の便宜を考慮し夜間講習と爲  
したるが、像期以上の好績を收め

るときは、夫々の専門的な職途行  
の上に於ても亦社會問題研究の上  
に於てもその便益至大なるを慮  
り、本學究の眞要なるを表す。